

月刊

モンキー!

動物園版

2016年は申年

かみね動物園で暮らす
15種類のサルたちを
毎月紹介

8

2016

毎月10日発行

カラー版はかみね動物園
ホームページをチェック!

アフリカ中部、
東部

レッドリスト：LC(軽度懸念)
ワシントン条約：付属書
森の開発による生息地の減少や、
毛皮を目的とした乱獲に脅かされ
ています。

今月のピックアップモンキー

アビシニアコロブス

英名Tufted Capuchin 学名 *Cebus apella*

霊長目オナガザル科 1匹のオスと数匹のメス、こどもからなる小さな群れ
で暮らします。寿命は飼育下で20年程度。主な食べ物は樹葉で、リーフ
イーター(葉食ザル)と呼ばれています。

☆ここに注目☆

みよ！この美しき姿！！

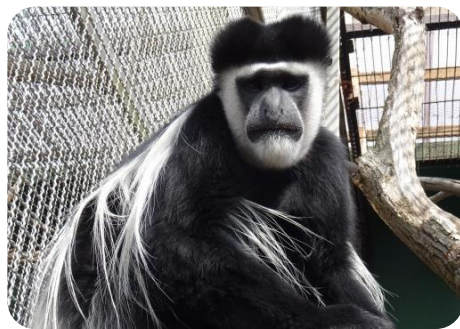
ベールを身にまとったかのような背中の毛、先が房状になっている見事なしっぽ、身体を覆っている毛は黒と白の見事なコントラストを織りなしており、非常に美しい姿をしています。しかしながら、この姿が災いしコロブスの美しい毛皮を目的とした乱獲が問題となっています…。



コロブスの赤ちゃん

身体の色は生まれたときから2色ではありません。赤ちゃんの頃は身体中白い毛で覆われています。生後10日頃から黒い毛が見られるようになり、生後3か月ごろには大人と同じ姿になります。

なまえ紹介



テッペイ(♂)

2009年9月2日生まれ

神経質な性格。いつもと様子が少しでも違うと木のてっぺんに登って降りてきません…。

現在は1頭でのんびりと過ごしています。好きな種類の木の葉を目にすると一目散に担当者のところへよってきますが、あまり好きではない木の葉をもっていくと受け取ってはくれず、ポイッと捨てられることもしばしば。とって一もグルメです。

木の葉を食べて大きく育つ？！

「サルのごはんってな～んだ？」と言われて、皆さんは何を思い浮かべますか？きっと“フルーツ”が頭に浮かぶのではないのでしょうか？しかしながら、アビシニアコロブスのごはんはちょっと違います。彼らのごはんはなんと“木の葉”なのです！「リーフイーター（葉食ザル）」とも呼ばれ、その名の通り主に木の葉を食べて生活しています。中でも若葉は大好物です！！

葉っぱにはたくさんのセルロースが含まれますが、コロブスのもつ大きな胃には葉っぱに含まれるセルロースを消化する機能が備わっています（ヒトはセルロースを消化することができません）。3室にくびれた胃の前胃には微生物がすんでおり、その微生物が葉に含まれているセルロースを分解し、消化吸収を助けています。また、微生物は消化されて栄養源としても利用されるため、葉っぱの消化以外の面でも活躍しています！！

かみね動物園では園内に生えている木からコロブスが食べても大丈夫なものを探して与えています。5月は桜の若葉がたくさん取れるため、コロブスにとっても、葉っぱ取りに苦労している担当者にとっても嬉しい時期です！！



お知らせ

モンキー館前の掲示板に注目！！

みなさんはモンキー館前にある掲示板の存在にお気づきでしょうか？サル担当の飼育員がひっそりとサルにまつわる情報を発信しています。現在はテナガザルについての掲示を行っていますので、お通りの際には是非ご覧ください。

飼育員の一言

見た目にも立派なアビシニアコロブスですが、実は3月のサル総選挙では最下位に…。知名度を上げるべく、色々な所でコロブスに活躍してもらいたいと思います。テッペイ！ともに頑張りましょう！

サル担当

